



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月7日

上場会社名 昭栄薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3537 URL <http://www.shoei-yakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 佐一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 成瀬 幸次 (TEL) 06-6262-2707
 四半期報告書提出予定日 2023年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	19,053	22.3	463	101.5	591	75.5	426	88.9
2022年3月期第3四半期	15,584	25.8	230	77.9	337	50.1	225	50.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 575百万円(-%) 2022年3月期第3四半期 △346百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	124.49	—
2022年3月期第3四半期	65.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	16,333	7,317	44.8
2022年3月期	14,480	6,950	48.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 7,317百万円 2022年3月期 6,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期(予想)				32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,883	12.9	416	37.9	609	28.2	435	△24.8	127.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	3,579,105株	2022年3月期	3,579,105株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	186,230株	2022年3月期	124,029株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	3,423,555株	2022年3月期3Q	3,459,996株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症第8波による感染拡大が続き、長期化しているものの、政府による景気支援策や行動制限の緩和に伴い、持ち直しの動きが見られました。一方、世界経済は資源価格の高騰や物価上昇によるインフレ懸念、急激な為替変動、ウクライナ情勢等の地政学的リスク、中国でのゼロコロナ政策緩和による世界経済への影響など、先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループの事業とかかわりの深い界面活性剤業界は、これまで回復基調であった海外経済に鈍化の兆しが見られ、生産・販売活動とも前年を下回る傾向で推移しました。

こうした中、当社グループにおいても在宅勤務やオンライン商談等を活用し、化学品事業におけるオレオケミカルを中心とした既存得意先への拡販・拡充、環境ソリューションビジネスの提案、新興国化学品の販売拡大に取り組んでまいりました。また仕入・販売価格に影響を及ぼすオレオケミカルを中心とした天然油脂相場価格は高値から下落基調で推移していましたが、下げ止まり、直近数か月は比較的安定して推移しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、上期の業績が好調であったこともあり、売上高は19,053,017千円（前年同四半期比22.3%増）、営業利益は463,866千円（前年同四半期比101.5%増）、経常利益は591,366千円（前年同四半期比75.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は426,193千円（前年同四半期比88.9%増）となり、第3四半期としてもいずれの項目も過去最高の業績を記録しました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期連結損益計算書における営業損益（営業利益又は営業損失）をベースとしております。また、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用127,310千円（前年同四半期比5.0%減）があります。

① 化学品事業

化学品事業におきましては、上期は円安や海外の需要に支えられ、国内主要得意先の生産・販売活動は堅調に推移しました。特に自動車関連や繊維油剤関連の得意先からの受注は堅調に推移しました。一方、下期からは海外経済の減速懸念の影響から、在庫調整等で受注数量を減らす得意先もありましたが、比較的堅調に推移しました。

この結果、化学品事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は17,565,224千円（前年同四半期比25.9%増）、セグメント利益は533,533千円（前年同四半期比92.3%増）となりました。

② 日用品事業

日用品事業におきましては、当事業が取扱う掃除用関連商品や生活日用品（洗濯槽クリーナーや用途別脱臭剤等）の一部商品の売行きは堅調に推移しましたが、物価上昇に伴う買い控え等の影響を受け、全体での売行きは伸び悩みました。また、利益面でも原材料高や物流費のコストアップ等の影響を大きく受けました。

この結果、日用品事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は640,396千円（前年同四半期比5.0%減）、セグメント利益は73,135千円（前年同四半期比23.6%減）となりました。

③ 土木建設資材事業

土木建設資材事業におきましては、当事業の取扱商品とのかかわりの深い地盤改良工事、コンクリート補修補強工事は復調の兆しが見え始めているものの、物件工事の遅延による発注遅れ等もあり、工事に使用される材料・添加剤の販売は低調となりました。一方、災害復興関連工事等の環境関連工事で使用される環境関連薬剤やバイオレメディエーション（微生物等の分解能力を用いて土壌、環境汚染を修復する技術）用浄化促進剤の販売については堅調に推移しました。

この結果、土木建設資材事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は847,396千円（前年同四半期比11.1%減）、セグメント損失は15,492千円（前年同四半期は9,024千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は16,333,471千円(前連結会計年度末比1,852,608千円の増加)となりました。主な要因は、売上債権が1,240,539千円、現金及び預金が505,601千円、保有有価証券の時価変動等により投資有価証券が139,008千円それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は9,016,353千円(前連結会計年度末比1,485,867千円の増加)となりました。主な要因は、短期借入金306,347千円、未払法人税等186,691千円それぞれ減少した一方で、支払手形及び買掛金1,885,509千円、繰延税金負債60,041千円それぞれ増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,317,118千円(前連結会計年度末比366,741千円の増加)となりました。主な要因は、利益剰余金281,080千円、保有有価証券の時価変動等によりその他有価証券評価差額金85,215千円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期連結業績予想につきましては、2022年11月9日の「通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。ただし、今後の業績動向などを見極め、修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,153,465	1,659,067
受取手形	839,335	973,254
電子記録債権	910,250	1,287,363
売掛金	5,659,106	6,388,614
商品	654,288	689,742
その他	178,755	109,676
貸倒引当金	△512	△601
流動資産合計	9,394,690	11,107,118
固定資産		
有形固定資産	179,585	177,633
無形固定資産	2,495	1,952
投資その他の資産		
投資有価証券	4,384,421	4,523,429
敷金及び保証金	341,718	346,618
その他	183,517	180,525
貸倒引当金	△5,564	△3,804
投資その他の資産合計	4,904,091	5,046,768
固定資産合計	5,086,172	5,226,353
資産合計	14,480,863	16,333,471

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,197,005	7,082,514
短期借入金	706,347	400,000
未払法人税等	201,376	14,684
賞与引当金	79,768	40,980
その他	80,349	146,393
流動負債合計	6,264,846	7,684,573
固定負債		
退職給付に係る負債	55,122	59,826
長期未払金	126,554	128,570
繰延税金負債	1,051,851	1,111,893
その他	32,111	31,489
固定負債合計	1,265,639	1,331,780
負債合計	7,530,486	9,016,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,169	248,169
資本剰余金	173,568	173,568
利益剰余金	3,956,794	4,237,875
自己株式	△114,909	△178,087
株主資本合計	4,263,622	4,481,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,565,643	2,650,859
為替換算調整勘定	121,111	184,734
その他の包括利益累計額合計	2,686,754	2,835,593
純資産合計	6,950,376	7,317,118
負債純資産合計	14,480,863	16,333,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	15,584,137	19,053,017
売上原価	14,353,315	17,575,187
売上総利益	1,230,822	1,477,829
販売費及び一般管理費	1,000,614	1,013,963
営業利益	230,207	463,866
営業外収益		
受取利息	3,912	3,911
受取配当金	80,422	79,232
為替差益	6,219	31,509
不動産賃貸料	16,611	16,611
その他	8,875	4,941
営業外収益合計	116,040	136,205
営業外費用		
支払利息	2,481	1,749
不動産賃貸原価	6,157	6,112
その他	558	844
営業外費用合計	9,196	8,706
経常利益	337,051	591,366
税金等調整前四半期純利益	337,051	591,366
法人税、住民税及び事業税	72,484	142,376
法人税等調整額	38,903	22,796
法人税等合計	111,387	165,172
四半期純利益	225,664	426,193
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,664	426,193

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	225,664	426,193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△563,964	85,215
為替換算調整勘定	△8,347	63,623
その他の包括利益合計	△572,312	148,838
四半期包括利益	△346,648	575,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△346,648	575,032

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資 材事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	13,956,857	674,302	952,977	15,584,137	—	15,584,137
外部顧客への売上高	13,956,857	674,302	952,977	15,584,137	—	15,584,137
セグメント間の内部売上高又は振 替高	3,499	—	—	3,499	△3,499	—
計	13,960,356	674,302	952,977	15,587,636	△3,499	15,584,137
セグメント利益又は損失(△)	277,515	95,745	△9,024	364,235	△134,027	230,207

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△134,027千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△134,027千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資 材事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	17,565,224	640,396	847,396	19,053,017		19,053,017
外部顧客への売上高	17,565,224	640,396	847,396	19,053,017	—	19,053,017
セグメント間の内部売上高又は振 替高	2,791	—	—	2,791	△2,791	—
計	17,568,016	640,396	847,396	19,055,808	△2,791	19,053,017
セグメント利益又は損失(△)	533,533	73,135	△15,492	591,176	△127,310	463,866

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△127,310千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△127,310千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。